

津別高校1年生が農業体験  
自分たちで植えたジャガイモを収穫



9月9日、津別高等学校の「総合的な学習の時間・農業体験」が、高台の(株)とうとう農場堂藤優代表取締役において行われ、参加した1年生29名が秋空の下で収穫作業に汗を流しました。

今回収穫したのは、生徒たちが5月に作付したジャガイモと同農場が育てた大豆。農作業は初めてという生徒も多く、土の中から掘り出されたジャガイモの大きさに歓声が上がっていました。  
収穫した作物はそれぞれ家庭に持ち帰り、地元の豊かな大地の恵みを味わいました。

「おしらせ道ねっと」

あいおい道の駅で地域情報を発信

9月14日、あいおい道の駅で北海道コカ・コーラボトリング株(福井誠北見販売部長)、北海道開発局(板倉純網走開発建設部長)、佐藤多一町長の三者協働で開設する「おしらせ道ねっと」の協定書手交式及び点灯式が行われました。

「おしらせ道ねっと」とは、電光掲示板が装備された自動販売機に地域情報を発信し、周辺地域への情報伝達を目的に設置されたものです。また、災害発生時における道路利用者への迅速な情報提供に大いに役立ちます。

今回の協働事業を受け、佐藤多一町長は「災害発生時に情報を提供するだけでなく、立ち寄った観光客にも町の催しを発信し、使い道を広げていきたいと思えます」と、今後の展開に期待をよせています。



町民にカレーと豚汁を提供  
美幌自衛隊が炊事車の実演を実施

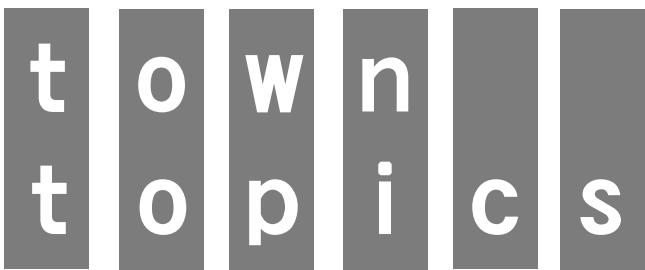
9月11日、豊永のさくら公園で陸上自衛隊美幌駐屯地の炊事車の実演と食事の配給が行われました。

隊員9名が300食以上の米を炊き上げ、大きな釜でカレーと豚汁を調理。会場には、車で訪れる家族連れや隣のふれあい公園で



パークゴルフを楽しんでいる方が立ち寄り、炊事車の前には料理を待つ人で長蛇の列が出来ました。

用意されたカレーと豚汁は完食され、大勢の方が秋晴れの青空の下で、出来立ての美味しい料理を味わいました。

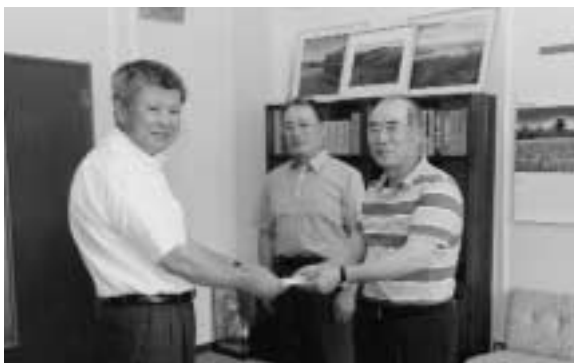


まちのわだい

創業100周年記念御礼  
(株)北所鉄工から町に寄附

9月1日、(株)北所鉄工(北所寿志雄代表取締役)から同社の創業100周年記念御礼として、津別町に100万円の寄附がありました。

町長室を訪れ、佐藤多一町長に目録を手渡した北所代表取締役は「消防振興に役立っていただければと思います」と話されました。



目録を受け取った町長は「ご厚意に深く感謝申し上げます。ご趣旨に沿って、有意義に使用させていただきます。とお礼の言葉を述べました。」

9月3日、温水プール「すいむ」で水泳記録会とプールまつりが開催され、幼児から中学生の子どもたち49名の参加がありました。  
記録会では、自分の力量に合わせて15メートルと25メートルの組に分かれ、それぞれの記録更新を目指し、懸命に泳ぐ姿が見られました。



水の中で楽しいゲームに挑戦「すいむ」でプールまつり

ツール・ド・北海道

20チームが町を駆け抜ける



9月17日、日本最大規模の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」の第2ステージが行われ、参加20チームの選手たちが町内を駆け抜けました。  
午前9時30分に弟子屈町川湯温泉をスタートとした一行は津別峠を経て、役場前、五差路など津別町の市街地を疾走。ゴールの鹿追町に向かって走り抜けました。

子どもたちに芸術文化を学ぶ機会を  
青少年芸術劇場を開催



8月31日、9月5日、9月7日の3回にわたり、青少年芸術劇場(教育委員会主催)が開催されました。  
8月31日は、町内の全小学生(津別、活汲、本岐)を対象に「劇団風の子」の「星のひとみ」を上演。また9月5日には、全中学生(津別活汲)を対象にした「劇団たんぼ」による「夏の庭」。9月7日には、乳幼児(保育所、幼稚園等)を対象に「劇団風の子」による「ふらつとぶらつと」が上演され、笑いを交えての演技に「楽しかった」と答える子どもたちが多くいました。

知らない人についてはいかない  
青葉幼稚園で防犯教室開催



9月13日、青葉幼稚園で防犯教室が開かれました。  
園児たちは最初に教材のアニメを見て、知らない人に声を掛けられても絶対について行かないこと、はつきりと「いやだ」と言うこと、すぐに親や先生に知らせることなどを勉強しました。アニメのユーモラスな場面では笑いも起こりましたが、最後まで真剣な眼差しで見入っていました。  
続いて津別駐在所の所員の方たちから、知らない人に連れて行かれそうになったら大きな声を出し、まじょっ、などのお話があり、園児たちはみな元気良く返事をしていました。